

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

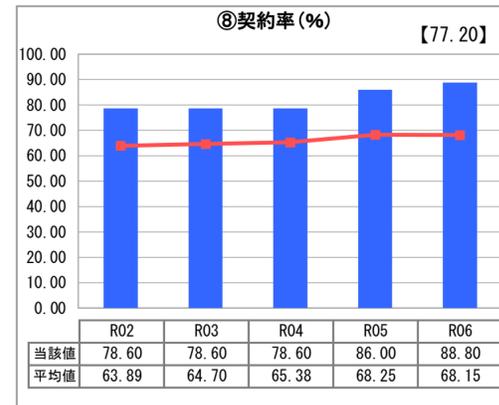
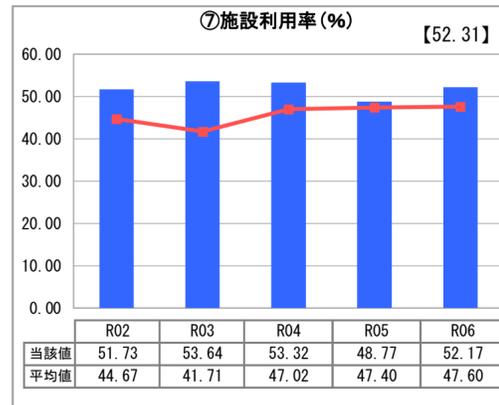
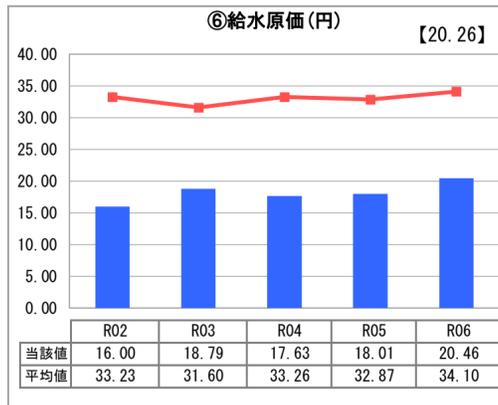
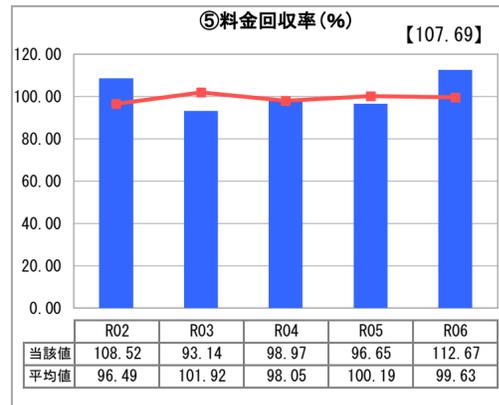
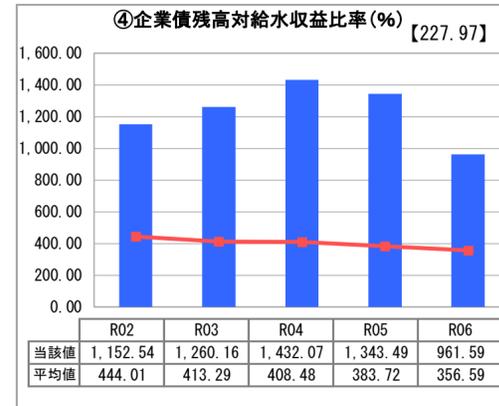
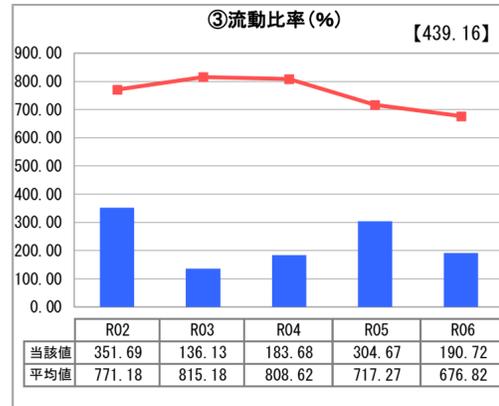
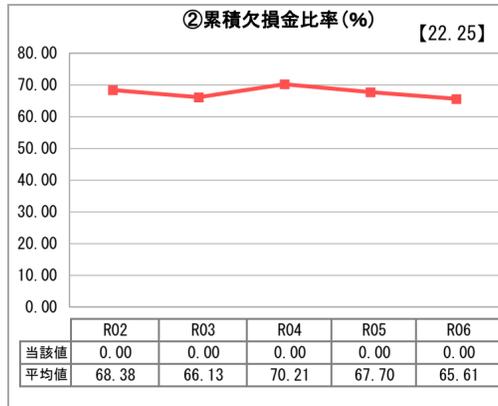
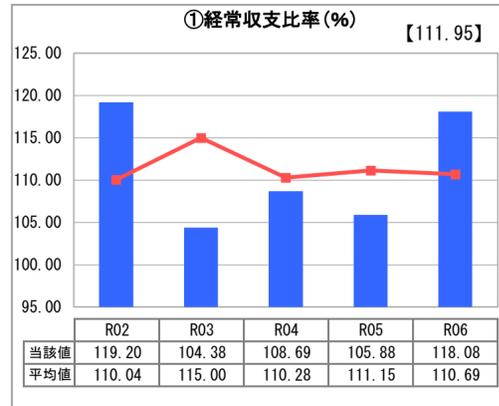
福井県 越前市

【事業概要】

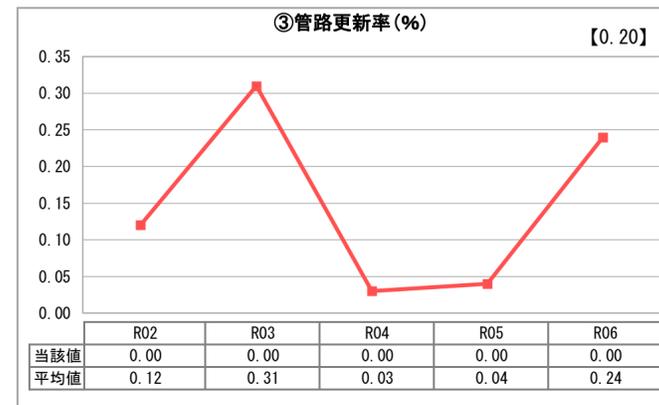
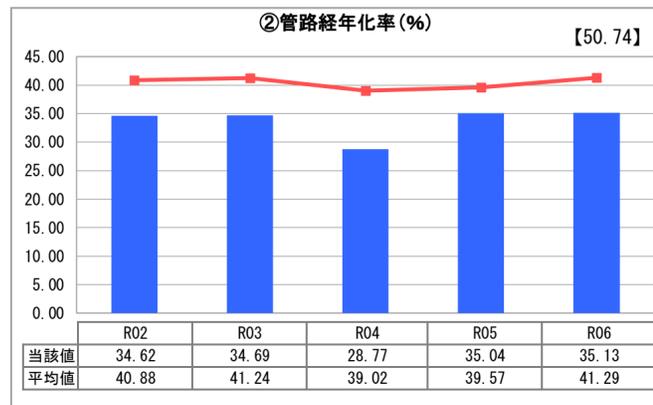
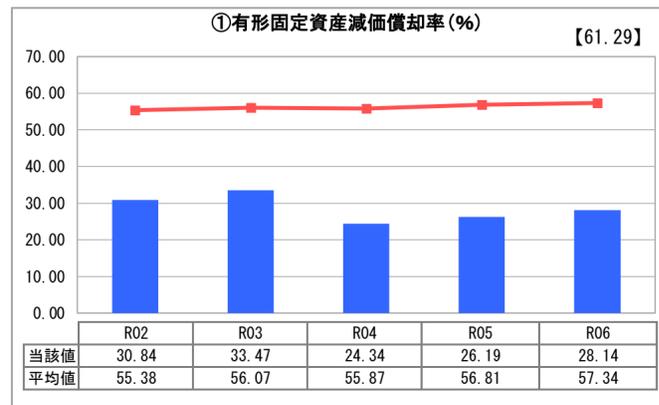
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	10,000	小規模	1	5,217
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	35.3	14	8,880	非設置	

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、令和5年度より料金改定にて基本料金、超過料金ともに値上げしたため、前年度と比較して12.2ポイント向上している。  
 ②累積欠損金比率は0%であり、低廉な工業用水を安定的に供することで、地域産業の振興発展に寄与した企業運営を行っている。  
 ③流動比率については、令和5年度は他会計から借入を行ったことにより流動資産が大きくなり一時的に流動比率が大きくなった。令和6年度は令和7年度に他会計からの借入を繰上げて返済する見込みを立てたので、その分流動負債が大きくなり、流動比率が小さくなった。今後も100%を下回らないようにする。  
 ④企業債残高対給水収益比率については、類似団体平均値と比べてかなり高い。投資規模に比べ料金水準が低いため、令和元年度から令和4年度にかけて管路増強工事等の影響によるものである。今後は、収益に見合った投資をしていく必要がある。  
 ⑤令和5年度より料金改定にて基本料金、超過料金ともに値上げしたため、料金回収率が改善している。しかし、今後の物価上昇、管路・設備の更新を考慮して経営健全化に務める必要がある。  
 ⑥給水原価は、類似団体平均値と比較すると低い数値であり、1m<sup>3</sup>あたりの費用は安価である。  
 ⑦施設利用率については、類似団体平均値を上回っている。  
 ⑧契約率については、類似団体平均値を上回っている。契約水量を考慮し効率的に井水ポンプを稼働し、配水量を調整している。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、段階的に設備更新を行っているため、類似団体平均値と比較すると低い水準である。  
 ②管路経年化率については、法定耐用年数が経過した管路が更新した管路を上回った状態が続いている。更新等の必要性を把握し、財源の確保や経営状況を踏まえた投資計画の検討が必要である。  
 ③管路更新率については、類似団体平均値と比べて低い。投資計画の検討により適切な管路更新を行っていく。

## 全体総括

令和6年度に料金改定を行い、一時的に経常収支はよくなった。しかし、管路更新等の投資に充てる財源確保が厳しい状況が続いている。また、自己資本が少なく、企業債の残高は多く、事業規模に対する負債の割合が大きい。  
 今後の経営状態が悪化をくい止めるため、中長期的視点に立って、適効率的な財政運営、健全経営の維持に努める。